

## 資料 2

### 京都市動物園理念（案）

京都市の最上位の都市理念である「世界文化自由都市宣言」の下，文化を基軸としながら，現代の動物園としての役割を果たすため，「京都市動物園理念」を以下のとおり定めます。

- ・ 私たちは，絶滅の恐れのある動物種の繁殖に取組み，希少種の命をつなぎ，種の保存に寄与します。
- ・ 私たちは，動物の福祉に配慮し，命を輝かせる飼育・展示を行います。
- ・ 私たちは，種の保存や動物福祉，比較認知科学などの研究を推進し，生物多様性の保全に寄与します。
- ・ 私たちは，種の保存の取組みや研究の成果を生かし，幅広い年齢層を対象に環境教育を実践し，楽しい学びの場を提供します。
- ・ 私たちは，文化を基軸として，施策を展開するとともに，人と動物に係る様々な文化を発信します。

#### 理念制定の背景

動物園は，従来から「種の保存」，「教育・環境教育」，「調査・研究」，「レクリエーション」という4つの役割を担ってきました。これは世界の動物園や水族館の普遍的な役割でもあり，京都市動物園は，この役割を未来永劫，大切にしていきます。

地球規模での自然環境の悪化や気候変動の影響による災害が頻発する中，世界の人々の環境保全の意識が高まりつつあります。京都市動物園は，4つの役割と同時にこれを連関させ，とりわけ「環境教育」と「野生動物の保全」を包括的なミッションとして行動していく必要があります。

更に，飼育・繁殖，展示，イベントなど日常的な動物園の運営面全般において，飼育下の動物の「安全」と「福祉」，「しあわせ」に配慮し行動する必要があります。

私たちは「京都議定書」が採択されたこの地，環境モデル都市・京都にある動物園として，地球環境の保全，生物多様性の保全に寄与するとともに，来園者に向けて行動を促すような啓発をしていく必要があります。